

議会だより

71

のとちょう

2023. 2. 1

平穏無事を願い
天高々に

新しい議会構成	2-3
価格高騰対策などを補正 12月定例会議・11月会議	4-5
一般質問	6-13
議会と語ろう会を開催	14-15
議案をチェック	16
常任委員会レポート	17-18
主な議会活動	19
まちかどインタビュー 編集後記	20

新しい議会構成

2022.11.7～



能登町議会副議長 小路 政敏

このたび、議員の皆さまのご推挙を賜り副議長を務めさせていただくことになりました。身に余る光栄であると同時にその責任の重さを痛感しているところでございます。

議長の補佐役として、町民の皆さまが親しみやすい議会運営を目指し、議会活動については引き続き「議会だより」や町のホームページ等を活用してお知らせしてまいります。

今後とも町民の皆さまの温かいご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。



能登町議会議長 金七 祐太郎

このたび、改選後の初議会におきまして、第10代能登町議会議長に就任いたしました。改めてその職責の重さに身の引き締まる思いでございます。議会の代表として、町民の皆さまの期待と信頼にお応えできるよう行政との懸け橋となり、議会の果たすべき役割を自覚し、公正かつ円滑な議会運営に議員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育厚生常任委員会

住民課、健康福祉課、教育委員会及び公立宇出津総合病院などに関する諸問題を協議しています。



小路 政敏 委員長



馬場 等 副委員長



田端 雄市 委員



金七 祐太郎 委員



市濱 等 委員



向峠 茂人 委員



鍛冶谷 眞一 委員



堂前 利昭 委員長



小浦 肇 副委員長



吉田 義法 委員



南 正晴 委員



酒元 法子 委員



河田 信彰 委員



志幸 松栄 委員

●議会運営委員会

議会を円滑に運営するために、議会日程、議案、請願、意見書の取り扱いなどに関して審査しています。

委員長 向峠 茂人
副委員長 堂前 利昭
委員 馬場 等
委員 小路 政敏
委員 酒元 法子
委員 河田 信彰

●広報編集特別委員会

町民の皆様には、よりわかりやすい広報誌となるよう努力しています。

委員長 馬場 等
副委員長 小浦 肇
委員 吉田 義法
委員 堂前 利昭
委員 田端 雄市
委員 小路 政敏

●能登町監査委員

町の事業や財務について監査しています。

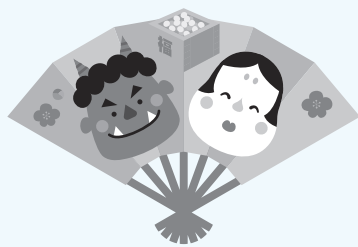
監査委員 田端 雄市

その他の役職

●奥能登広域圏事務組合

組合議会の議員は、輪島市2人、珠洲市2人、能登町2人、穴水町1人をもって組織し、4市町で共同処理する事務について協議しています。

向峠 茂人
鍛冶谷 眞一



●奥能登クリーン組合

組合議会の議員は、珠洲市6人、能登町6人をもって組織し、共同処理する事務について協議しています。

吉田 義法
金七 祐太郎
南 正晴
市濱 等
酒元 法子
河田 信彰

●のと鉄道運営助成基金

組合議会の議員は、七尾市1人、輪島市1人、珠洲市1人、穴水町1人、能登町1人をもって組織し、共同処理する事務について協議しています。

酒元 法子

●国保運営協議会委員

国民健康保険の健全な運営について協議しています。

小浦 肇
馬場 等
志幸 松栄

●社会福祉協議会役員

社会福祉協議会の健全な運営について協議しています。

小路 政敏



などの価格高騰に 業者に対して支援！

に対し、国の地方創生臨時交付金を活用した支援事業を追加したほか、人事院勧告やに係る債務負担行為^(※)を追加した。

※債務負担行為・・・予算は本来、単一年度で完結するのが原則であるが、事業等が単年度で終了せず複数年にまたぐ場合、将来（次年度以降）の債務を負担する行為をいい、議会の議決が必要となる。

一般会計補正予算に4億4767万1千円を追加して、 令和4年度一般会計予算総額を、160億5194万1千円に。

主な補正予算

○総務費

- ・人事院勧告や人事異動による人件費の調整
- ・電気料の高騰に伴う庁舎電気料を増額
- ・石川県議会議員選挙の所要経費を追加

○民生費

- ・障害者福祉施設、介護事業所、私立認定こども園などに対して食材費や電気料などの一部を助成する物価高騰緊急支援事業を追加

○衛生費

- ・国の出産・子育て応援事業の追加と未熟児療育医療事業を増額

○農林水産業費

- ・トキ放鳥推進モデル地区整備事業として環境整備に対する補助金を追加
- ・イノシシ捕獲数の増加に伴う捕獲報償金を増額
- ・畜産農家に対して配合飼料価格高騰緊急支援事業を追加

○教育費

- ・小中学校、公民館、図書館などにおける電気料の増額
- ・大会派遣費及び部活動遠征費の増額

○災害復旧費

- ・豪雨や台風による災害で農地、農業用施設、道路及び河川の災害復旧費を追加

○公債費

- ・将来の公債費負担を軽減するために、減債基金を活用し繰上償還金を追加

令和4年第3回能登町議会12月定例会議を12月6日から16日にかけて開会し、町長提出議案24件が提出された。議案は令和4年度の補正予算のほか条例改正や公の施設の指定管

理者の指定などであり、各常任委員会により審査し全議案を可決した。13日には8人の議員が町政全般について一般質問を行った。

電気・ガス・食料品 影響を受けている事

補正予算として、電気・ガス・食料品などの価格高騰に大きく影響を受けている事業者
人事異動による人件費の調整や公債費の繰上償還、また宇出津地区の統合保育所整備事業



その他の主な議案

○公の施設の指定管理者の指定

施設名	指定管理者
能登町宇出津港水産物鮮度保持施設	石川県漁業協同組合
能登町宇出津港水産物加工処理施設	株式会社 奥能登食材流通機構
国民宿舎能登うしつ荘	株式会社 能登町ふれあい公社
能登やなぎだ荘	
真脇ポーレポーレ	
縄文真脇温泉浴場	
真脇遺跡公園	
ラブロ恋路	
能登観光情報ステーションたびスタ	
ふれあいの里施設	合同会社 能登みらい創造ネットワーク
セミナーハウス山びこ	株式会社 山びこ
ふれあい工房	
まつなみキッズセンター	あっぷる

11月会議

○11月7日に能登町議会議員の改選後、初めての会議となる『令和4年第1回能登町議会11月会議』を開会し、議長及び副議長の選挙、各委員会等の構成のほか、町長提出議案として監査委員の選任を行った。（詳細については2・3ページをご参照ください）

○11月11日に『令和4年第2回能登町議会11月第2回会議』を開会し、マイナンバーカード取得者に対して5千円分の商品券交付のほか、電力・ガス・食料品などの価格高騰の負担増による非課税世帯等臨時特別給付金事業として5万円を給付するための補正予算1件、条例の一部改正2件を可決した。

いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

12月定例会議の一般質問（13日）

問 町政に対する意気込みを問う

答 全身全霊で当町の発展に取り組む



小浦 肇 議員

問

はじめの一步を踏み出すにあたり、町長自ら編成した本年度事業予算の進捗状況及び評価と現時点の町政に対する心意気を問う。

答 町長

第2次総合計画、創生総合戦略、公共施設個別施設計画を踏まえ、コロナ禍での地域経済回復、関係人口の創出、福祉の充実、公共施設の適正管理などを重点に取組み、事業の選択と集中を図りながら計画どおり予算を

問 延床面積削減計画の有無を問う

答 計画は有り進捗管理をしている

問

第2期能登町創生総合戦略で、延床面積削減のKPI（目標値）が示されているが管理はどうか。指定管理者より、削減計画を変更するに値する施設運営改善計画が提示された場合、削減計画を変更する余地はあるのか。

答 町長

20年後を見据えて公共施設個別施設計画を策定した。そしてこの計画を実行する為に、各課長を委員として公共施設マネジメント推進委員会を設置し、定期的に進捗状況を管理している。基本的に現在の公共施設個別施設計画に基づき削減を進めている。



遂行している。特に、定例会に提案している債務負担行為を計上した統合保育所整備事業や、ノトクロスポートを活用した移住定住サポート事業などは、計画どおり進んでいる。



除雪（イメージ）

問 その他質問

今季は大雪が予想されている。過去3年間の業者数を示し除雪体制の説明を求める。

施設の移転など、大きな環境変化に対する除雪体制のリスクアセスメントを問う。

答 建設水道課長

除雪委託業者数は、R元年度52、R2年度51、R3年度51、R4年度54で、各路線に適した機械設備を配備し効率よく除雪する体制としている。また、除雪に支障となる立木の除去・路上駐車禁止の遵守などを、各町内会に協力要請済みである。リスク回避として、除雪を通常通勤時間帯とし、環境変化には、関係者と協議して注意喚起の看板などを設置する。仮設ひばり保育所は、道路法に基づく停車帯を設け、保護者には連絡ツールで、付近道路の停車帯以外の駐停車禁止の遵守を要請済み。また、不測事態の大雪には、施設管理者・通行管理者と協議し、注意喚起の看板や通行規制など必要な処置を施す。



吉田 義法 議員

問 小路、赤道の改修を求める

答 まず、町内会、区会より要望を

問

住居まで車両が入れない狭い道路や未舗装の道路は、生活上、著しく不便であり、緊急時においても支障がある。また、この不便さが人口減の要因にもなっている。

① 拡幅や舗装工事を行う際の手順や条件は。また、

道路法が適用されない赤道を町道に格上げすることや、赤道のままでも土地の提供や負担金等の条件を付けることで、改修できないか。

② 物理上拡幅等ができない場合は、斜度や段差を下げる、手すりを付けるなど、不便さの軽減を図れ。また、町営住宅への入居や町内での転居費用を一部負担するなどし、人口減少の低減を図るべき。

答 建設水道課長

① 町道の場合は町内会等より地権者、用地提供者の同意を得た上で要望書を提出してもらいたい。その上で現地確認を行い必要な整備を行う。また、赤道の町道への格上げは交通事情や公共的な見地から判断する。

答 企画財政課長

① 生活道路として利用されている赤道は補修により対応している。機能の向上を図る種類の道路ではないため、土地の提供や負担金を徴収する制度を設けてまで整備しない。

答 町長

② 要望があれば現地を確認し必要に応じ階段や手すりを設置する。また、町営住宅の入居は持ち家がある場合はできないが、空き家情報を提供している。町内の利便性の良い土地への転居も一つの方法だと思う。

問 学校給食の無償化を提案

答 保護者の負担軽減を協議中



能登牛を使った給食

問

① 学校給食の地産地消率を全国や県内の値とともに示せ。また、特産品をおおいに提供すべきと考える。

② 個人が量を選択できるか。また、1人当たりの年間廃棄量を全国や県内の値と共に示せ。

③ 1日、1人分の費用とひと月分の費用はいくらか。完全無償化した場合の年間の全体費用額は。県内で無償化している自治体は。子育て環境の充実を目的として、給食費の完全無償化もしくは一部無償化を行うべきだ。

答 教育長

① 令和元年度の調査で地場産物の使用割合は能登町45・6%、県が35・2%、国が26%。今後も船凍イカや能登牛などの他にも特産品の利用を推進していきたい。

② 食物アレルギーの個別対応の他に成長曲線等の状況を確認し、個人において量を調節できるように配慮している。以前、勤務していた学校のデータではあるが、1人当たりの残食量は約7グラムとごくわずかである。

③ 1食当たりの給食費は平均、小学生で270円、中学生で320円。ひと月当たり小学生で約5400円と中学生で6400円。完全無償化すると今年度の児童生徒数で約4200万円かかる。県内では2自治体が完全無償化し、8自治体が一部無償化を実施している。当町においても保護者の負担軽減について協議中である。



馬場 等 議員

問 予約制乗合タクシー事業の現状は

答 利用者、登録者とも増えている

問

利用者は確かに倍増しているが、登録者は1.2倍とそれほど増えていない。その理由はどこにあるのか。

答 企画財政課長

利用料金を一律700円にしたことにより利用者は2倍となっている。また、登録者数についても年度ごとの3カ年平均が1.04倍であったことからすると、今年度の1.2倍の伸びは決して低くない。

問

おかえり便、3便目は利用されているか。



答 町長

利用回数に限らず、必要な便である。

問

おかえり便は3便あるが、1便、2便で利用人数比率の96%を占める。増えた3便の利用人数比率は4%弱で、ほとんど利用されていない。3便の時間帯の見直しをすべきではないか。

答 企画財政課長

予約制乗合タクシーのアンケート調査で、15時台の便を希望する方が13.3%あり、運行を開始した。利用回数は少ないかもしれないが絶対に必要な時間帯と考えている。

問 学校開放について、町の方針は

答 教室などの開放は困難である

問

学校施設を地域のコミュニティの核「ハコモノ」として、グラウンドや体育館だけではなく、音楽室、図工室、図書室、ランチルーム等の特別教室も地域に開放する考えは無いのか。

答 教育長

学校施設を利用した複合施設では、防犯面や管理の面の観点からそれぞれが独立し、管理区分を明確にすることが全国的な方法である。町内の学校施設で実施していく場合、大規模な改修が必要である。このことから、教室などの開放は現在困難である。



答 町長

地域コミュニティの核としては、公民館が担うものと考えている。学校については、もし学校自体、全体を建て替えると計画があった場合には、学校開放に向けた複合施設のあり方を検討したいと思っている。

問 その他質問

統合保育所は、計画検討時において建物の安全性や避難所としての機能に考慮したか。機能があれば具体的に説明せよ。

答 健康福祉課長

安全性については、実施設設計において国の官庁施設の総合耐震計画基準に準拠している。大地震後も建物を使用できる事を考慮し設計している。で、災害時の避難施設として利用することは可能である。避難所の機能として、大人が利用できるトイレは、洋式便器が4つ、多目的トイレを1つ設計している。また、太陽光発電設備を導入することで、停電時にも10キロワットアワー程度の電力を確保し、施設の消費電力に利用することを可能としている。



田端 雄市 議員

問 0歳～2歳児の支援の拡充を図れ

答 従前の支援に、拡充して対応

問

国の『出産・子育て応援交付金事業』がスタートする。支援が手薄であった0歳～2歳児に焦点を当てたもので、子育てが孤立するのを防ぐ狙いがある。従来に増して、きめ細かく妊産婦に寄り添う相談支援に取り組むことを望む。事業は、人的配置が要となる。体制整備の考えを聞きたい。

答 町長

従来から、妊娠・出産後の訪問時に、全員対象の面談を実施し、個別の支援計画を策定している。今年度からは、町独自の妊娠サポート事業として、5万円の交通費支給の実施を始めた。未登園の児童に対しては、こども園に登録し、育児体験や一時保育サービスも提供している。今後も支援できるサービスを国・他市町の動向を見て、メニューの拡充も図っていききたい。人的体制については、子育て世代包括支援センターを中心に、保健師、保育士等の専門職、さらに母子保健推進員との連携で、対応していききたい。

問 子宮頸がんワクチン接種状況は

答 全対象者に案内済、接種も進展



ワクチン接種（イメージ）

問

本年4月から積極的勧奨の時期に入った。小学6年から高校1年までの定期接種対象者、キャッチアップ対象者に、どのような周知をいつしたのか、また、進捗状況はどうか。

答 健康福祉課長

本年5月に、対象者に個別に通知をした。接種状況は、過年度と比較し、平成26～29年は、0件、平成30年は2件、令和元年は22件、令和2年は51件あったが、令和3年は71件、本年は10月までに63件の接種を行った。

問 その他質問

来年4月から子宮頸がん※9価ワクチンが定期接種となり、公費負担で実施される。その予防効果と安全性を説明せよ。また、本町の対応と周知方法を問う。

答 健康福祉課長

来年4月から接種される9価ワクチンの予防効果は、従来のものが約70%であったものと比べ、80～90%と期待される。また、副反応も、従来のものと変わらない。

その対応と周知については、国の説明会を受け、具体的な内容を確認し、対象者へ必要な情報を個別に提供していく。

※9価ワクチンは、9種類のタイプのHPVウイルスへの感染を防ぐためのワクチン。子宮頸がんの原因のおよそ約80～90%を防ぎ、感染予防効果は2価・4価ワクチンより高いとされています。

問 公営合葬墓等の整備を

答 今のところ整備の考えはない



河田 信彰 議員

問

少子化や核家族化、また未婚者の増加等により、墓を維持していくことが困難となっている。全国的に合葬墓が増える中、町での、合葬墓の整備について聞く。また、墓じまいについて、町の支援はあるのか。

答 町長

合葬墓とは、複数の方の遺骨を同じ施設に埋葬し管理するお墓のことであり、一人ずつ、骨壺などで管理する納骨堂もその一種に含まれると認識している。

町内の墓地の状況は、町が管理する墓地公園のほか、寺院、地区、各個人が管理している墓地、多様なケースがある。

町の墓地公園は、現在621区画と、埋葬者の血縁関係者及び埋葬先がなく、管理する方もいない等の事由がある遺骨を保管、または納骨する共同墳墓を1基整備している。町としては墓地公園を整備しており、今のところ合葬墓整備という考えはない。

墓じまいについては、将来的に墓の管理承継する方がいないという場合や、町外に居住している方がその近くに墓を移す

場合など、お墓の管理者が町に改葬の手続を行い、町が許可後、墓じまいができるということになっている。

町の墓地公園については、墓じまいなどで墓地を使用する必要がなくなり返還を申し出た方に対し、納付済みの永代使用料の5割を還付金として補助している。

墓じまいのケースというのは様々であり、対象者が町内の方か、町外の方か、費用等についても非常に不明確な部分がある。需要などの調査を行う必要もあるかと思うが、今のところは補助金制度の制定は考えていない。



能登三郷斎場に隣接する能登町墓地公園

問 物価高騰による公共料金の軽減は

答 受益者負担が原則と考えている

問

公共料金は住民がサービスを選択することが難しい。

能登町の上下水道料金は県内の市町と比べてどうなのか現状を聞く。

答 建設水道課担当課長

水道料金は、口径13ミリ10立方メートルを使用した場合の最高は当町で2640円。最低は川北町の0円。

下水道料金については、最高は川北町の2000円。最低は野々市市の155円。当町は1650円であり、県内19市町の中では6番目に高い金額となっている。

上下水道料金については、最高は穴水町の4576円。最低は野々市市の1914円。当町は4290円で県内19市町の

中では3番目に高い金額となっている。奥能登地区では、全体的に料金が高額になっている状況が続いている。

有線テレビについては、県内19市町のうち公営でしているところは、七尾市、輪島市、かほく市、宝達志水町、中能登町と当町の6市町。料金については、輪島市のみ1650円、その他5市町は月1100円である。

これら事業については経営の効率化に努めながらも、施設の維持や更新をする際には多大な費用が必要となる。

公共料金というのは受益者負担が原則であり、物価高騰支援等については、公共料金の減額ではなく、国の交付金等を活用した支援策を講じたい。



鍛冶谷 眞一 議員

問 公共交通の基本的な対応は

答 予約制乗合タクシーが切り札

問

議員として新しい4年
間を踏み出した。町長も
就任から2年の折り返し
に近い。この機会に基本
的な考え方を確認したい。
平成20年から公共交通の
協議会などを組織してい
るが、これからの取り組
みは。

答 町長

今年度末までに新たな
地域公共交通計画を策定
する。特に予約制乗合タ
クシーの運行が鍵と考
えている。具体的にはお
かえり便の増便や一律70
0円の料金にするなど、
利便を図った。今後も利
用者、事業者のヒアリン
グやアンケート結果を基
に、外出しやすい環境を
整えていきたい。

問 宇出津病院の更なる強化を

答 継続して施設整備等を進める

問

日ごろから、「病院と
高校のない町にはしたく
ない」と考えている。ド
クターヘリの導入から2
021年度末までに93
8件、そのうち半数の4
57件が能登北部に出勤
している。搭乗する医師
の確保も含め、急性期型
の基幹病院として果たす
役割は大きい。コロナ、
高齢者等についても、同

様だ。町長の思いを確認
したい。

答 町長

宇出津病院の運営に対
して、マイナスの発言や
予算の減額をしたことは
ない。施設の改修計画も、
令和3、4、5年度がピ
ークであり、しっかり取
り組む。

問 その他質問

少子化の波、どこの高

校も生徒の獲得に躍起
だ。当町では平成26年に
初めての公営の鳳雛塾を
スタート、能登高校を応
援する会も併せて効果も
出ている。この先、農業、
水産業、養蜂事業、新た
に潜水士育成など、夢が
膨らむが更なる取り組み
を問う。

答 町長

私自身が知事や県教委
に希望を伝えていくし、
当町の婦人団体協議会も
知事に直接提言するなど
積極的に取り組んでいる。
能登高校の存続は非常に
重要であると認識してい
る。



宇出津総合病院



能登高校



志幸 松栄 議員

問 令和5年度当初予算編成の概要は

答 基本的な考えは前年度と同様

問

① 令和5年度における新規事業、廃止事業、また拡充となる事業の概要について問う。

② 電気料金値上げに伴う影響は。

③ ※带状疱疹ワクチンの予防接種の助成について。

答 町長

① 現在は予算の編成中であり細部については答えられないが、基本的には令和4年度と大綱的に同様な内容となる。町の総合計画、創生総合戦略、個別施設計画を踏まえて持続可能な町の実現に向



けて社会資本の整備、関係人口の創出、福祉施策の充実に加え、公共施設の適正管理に努めていきたい。

答 企画財政課長

② 電気料金値上げに関しては国や県、そして電力会社の今後の動向を見ながら情報収集に努める。

答 町長

③ 带状疱疹ワクチンについては、今後、国や県内他市町の動向を注視していきたい。

※带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気です。

体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが多数集まって帯状に生じます。症状の多くは上半身に現れ、顔面、特に目の周りにも現れることがあります。



問 人口減少への方策はあるのか

答 創生総合戦略にて検討

問

① 若年層の転出防止対策また、人口減少による住民負担が予想されるが、その見込みは。

② 空き家解体助成制度の見直しを問う。

答 町長

① 人口減少対策は創生総合戦略、のと未来会議の中で取り組んでいきたい。今の時代に沿った新しい働き方等を整備することによって、転出防止対策を講じていきたい。

住民負担の増については、各地区、町内会での労力の負担が増すことが懸念されており、町として地域経済の活性化を図る取り組みを継続していきたい。

② 空き家対策の見直しとして補助率、上限額について見直しを協議中である。



堂前 利昭 議員

問 選挙ポスター掲示場を見直せ

答 区長同士で協議、町選管で検討

問

① 125箇所の選挙ポスター掲示場は、どのようにして決められているのか。

② 掲示場が設置されていない集落もあるが、見直す計画はあるのか。

答 選挙管理委員会書記長

① 選挙ポスター掲示場の総数については、公職選挙法及び公職選挙法施行令の規定で、それぞれの投票区の選挙人名簿登録者数と面積に応じて設けている。



選挙ポスター掲示板（イメージ）

能登町における政令で定める基準の最大数は、

125箇所となっている。

② 125箇所を超えて、

町内すべてに設置することは、不可能である。あくまで選挙人にとって見

やすい場所に設置されるよう、人口、地勢、交通

等の事情を総合的に考慮して設置したい。選挙区

内の移設の要望については、同じ投票区の区長同士で協議してもらい、連

絡があれば、町選管で検討する。

問 児童クラブの仕組みを是正せよ

答 来年度、連絡協議会を設立

問

① 内浦、柳田、能都が合併して17年が過ぎようとするが、未だサービスにばらつきがあるが、どう考える。

② 能登町放課後児童クラブ連絡協議会を設立するが、父兄や子育て世代の悩み、要望をどのようにここで取り上げるのか。

③ 支援員の人数にもばらつきがあるが、不足はしていないか。

答 町長

① 町の直営や運営委託の放課後児童クラブ、民間のクラブとのサービスの早急な統一化は、今すぐは困難である。しかしながら、来年度から能登町放課後児童クラブの連絡協議会を設置し、クラブ運営に関する情報交換、職員研修を予定している。

② 利用者の方々がどのような思いでいるか把握することは重要と考えており、アンケートを実施する。

③ 県の基準に基づくと、当町の5クラブとも常時2人を配置している。



こどもみらいセンター外観

「語ろう会」を開催

にて議会と語ろう会を開催しました。
す。貴重なご意見をありがとうございました。
りです。



能登町役場 2階大集会場

能登町役場 2階大集会場

○共同墓の設置を提案する。

○七見森林公園を有効活用してほしい。

○給食費の負担減を提案する。

○本町から仙人町通り及び新町通りに融雪装置を導入してほしい。

○町議会議員定数の削減を提案する。

○議員は、議案に対してもっと議論し、しっかりと活動を望む。

○大企業へ税など優遇処置を施し本社移転を図る取組みを提案する。

○「広報のと」、「議会だより」に一般質問の日程掲載を望む。

○新人議員の所信表明を「議会だより」などに掲載を望む。

○町の個別取組みをしつかり案内・説明することとを望む。

○新町通りなど「カラー舗装道路」が傷んでおり修繕を提案する。

○大理石の歩道は雨降り時に滑るので改善を望む。

○本日の「語ろう会」にテーマ設定が欲しかった。

○子供の声が聞こえる町づくりを望む。

○能登町有線テレビインターネットのトラブル発生時には速やかに告知願いたい。

柳田公民館 3階多目的ホール

○珠洲道路を利用する観光客が能登町を素通りして行く。町の魅力や誘客のアピール方法にもっと工夫が必要では。

○町の特産であるブルーベリーのある所へ、観光バス等が行きやすい道路の整備が必要。

○職員の対応や連絡にはらつきがあり、苦情等への対応に納得のいかない部分がある。

○高齢化により集落で草刈等の共同作業が難しくなってきた。何か対策を望む。

○十郎原から中斉へ抜ける道路の急カーブの所の改良を希望する。

○来年から「相統国庫帰属法」が開始される。子孫が利用しようとしても費用負担が大きい。対策を希望する。



多目的ホール

「議会と語る

令和4年12月6日（火）午後6時から3会場
議会に関することは議会でしっかりと協議しま
全て町当局へ届けます。主な内容は以下のとお



内浦総合支所ホール

○町の財政に問題はないのか。

○林道の維持管理に力を入れていただきたい。

○幹線道路から植物公園やつくモールへのアクセス道路の整備を望む。

○少子高齢化により各方面で人手不足が言われている。人材育成のシステムの構築を望む。

内浦総合支所ホール

○冬季間だけでも松波小学校のスクールバスに中学生を乗車させてほしい。
また、通学路の街灯整備や歩道の草刈、除雪もお願いしたい。

○能登町立小・中学校の適正規模・適正配置に関する答申書は、子どもたちや保護者の立場で考えられていない。



柳田公民会3階

番に考えてほしい。

○内浦総合運動公園での文化祭と秋の味覚市の同時開催は大変好評だった。
他にもスポーツやイベントなどからめて開催してほしい。

○陶芸や盆栽など芸術や文化をとおして、高齢者の居場所を作ってほしい。

○議員定数の削減は必要となるかも。同時に報酬額の引き上げも必要だ。

○能登町出身者等にあふると納税を行ってもらう仕組み作りが必要。

○移住者が増えている。移住定住促進事業を高く評価する。

○宇出津方面行きは不動寺のバス停は路肩が狭く危険。
路肩を広げるかバス停の位置の移動が必要。

○18歳までに町を誇らしく思える教育が必要だ。

○旧内浦庁舎跡地の有効活用を。

※他にもたくさんのご意見をいただきました。全て町当局へ届けます。



議案をチェック

12月定例会議の議案質疑

岡田端雄市 議員

配合飼料価格高騰緊急支援事業補助金の事業費1560万円の対象農家数は何件か。
また、上限300万円を超える農家数は何件か。最低金額と契約数量は。

岡 農林水産課長

対象農家数は18経営体内訳は酪農が6件、肥育肉用牛が7件、繁殖肉用牛2件、養豚が1件、養鶏が2件の計18件となっている。

上限の300万円を超える経営体は3件で、養豚1件、養鶏2件になる。最低金額は1万6000円で、契約数量は8トンである。



岡田端雄市 議員

町独自の配合飼料価格高騰緊急支援事業補助金は今回限りか。国や県の支援策はないのか。

岡 農林水産課長

今回限りである。県の配合飼料価格安定制度があり、価格高騰の2分の1を支援する。上限は8000円である。

岡 鍛冶谷一 議員

和牛共進会で入賞した柳田肉用牛生産組合は町にある事業体か。町独自の配合飼料価格高騰緊急支援事業補助金の財源は何か。上限300万円の補助金の申請件数は。

岡 農林水産課長

柳田肉用牛生産組合は当町にある。配合飼料価格高騰緊急支援事業補助金の財源は臨時交付金である。上限300万円の経営体は3件であり、養豚1件、養鶏2件である。

岡 吉田義法 議員

宇出津地区統合保育所の本体工事と監理業務費、合計6億1927万8000円の債務負担行為が追加されている。保育所の図面も示されているが、建物を湾曲させないで、まっすぐに伸びている道路沿いに建設できないか。その方が経費を抑えることができるのでは。



新統合保育所完成イメージ図

岡 健康福祉課長

能都体育館側の道路から敷地には高さがあり、こちらからの入り口には階段の設置が必要であり、示している設計図面は湾曲の建物であるが、玄関部分が外部の道路とほぼ高さがなく、園庭が四角くとれるのでこの設計にしてある。



総務産業建設委員会

堂前利昭（委員長）

小浦 肇（副委員長）

吉田義法 南 正晴

酒元法子 河田信彰

志幸松栄

あたり、単価を引き上げ
るものか。

図

単価の見直しではなく、
イノシシの捕獲頭数が昨
年度に比べ増えているた
めの増額補正。昨年度の
捕獲頭数194頭に対し
て、4年度の捕獲見込み
数は592頭。

図

人件費の額は人事院勧
告を受けてと説明があっ
たが、能登町近隣の民間
企業の給与を参考にして
いるか。

図

国では1万1千800
の民間事業所の45万人の
個人別給与を元に、公務
員との差を調べ、人事院
勧告を行っている。その
ため、町独自には地元の
企業の状況を加味してい
ない。

図

鳥獣被害防止対策事業
で報償費が増額補正され
ているが、これは埋立処
分場が使えず、捕獲した
鳥獣を自身で処理するに



罠にかかったイノシシ

図

トキ放鳥推進モデル地
区整備事業の具体的内容
とモデル地区の選定は。

図

5月に能登地域トキ放
鳥受入推進協議会が設置
され、8月に石川県及び



能登4市5町が放鳥候補
地として国から選定され
た。有識者からなる専門
委員会を設置し、ロード
マップの作成、生息環境
調査、モデル地区の設置
が行われる。モデル地区
は概ね10ヘクタール以上
の同一水源からなる農地
で、その半分以上が20分
の1以下の傾斜となってい
る地区が対象。5ヘク
タール以上の田んぼで、
化学肥料や化学農薬を慣
行より5割以上低減して
耕作することや無農薬で
の畦畔の除草、江や魚道
の設置、冬期湛水など地
域住民により作業を行っ
てもらう。1地区100
万円を上限にモデル地区
に交付する。

能登町においては、中
山間地域等直接支払制度

の集落協定を結んだ地区
をもとに、地理的条件を
勘案し九里川尻地区を候
補地とした。

図

緩衝帯整備事業の地区
は町で選定するのか。現
在の実施地区はどこか。

図

この事業は県事業で、
地区からの要望を受けて
県が選定する。実施地区
は黒川と程谷の2地区。

図

現在、ほ場整備事業を
実施している地区はどこ
か。

図

天坂・久田、瑞穂、瑞
穂第2、柳田中央第2、
大箱、十郎原、藤ノ瀬の
7地区。

図

公の施設の指定管理の
指定について、評価項目
の「サービス水準の考え
方」で真脇ポーレポーレ
がA評価、真脇遺跡公園
がC評価となった理由は。

図

真脇ポーレポーレがA
評価を受けた理由は楽天
アワードで上位の評価を

受けていることや、情報
発信を向上させる努力や
提案が良かったため。真
脇遺跡公園は単体での集
客が難しい点でC評価と
なったと考えられる。



真脇ポーレポーレ

図

公の施設の指定管理の
指定について、ふれあいの
里施設、いわゆる植物
公園の指定管理者が変わ
り3年。その評価は。

図

指定管理者と担当課で
2カ月ごとに定例会を開
催し、実績報告を受けて
いる。計画に差異があれ
ば指導、是正を行ってい
る。新たな提案について
も受けている。今回の選
定は3年間の実績を鑑み
た。

付託された議案の他に
質問・意見がありました。

図

イカの駅つくモールは
新しい施設なのに改修工
事を行っている。その内
容と費用は。

図

雨水集水のトイから屋
根に漏水があり、施工業
者より改修の提案があり
施行している。町の経費
負担はない。

図

内浦庁舎跡地利用につ
いて説明を。

図

来年度、松波分団詰所
を建設予定で外側には公
衆トイレを地区の要望に
より併設する。その他、
跡地利用については、ま
つなみキッズセンターの
建替えを含めて検討した
い。



解体中の内浦庁舎

問

旧宇出津公民館の解体にともない、鳳雛塾がNTTビルに移る予定と聞いた。契約内容は。また、町が古い施設を整理している中で、鳳雛塾やのとクロスポートなどが入る民間の建物を借りることについて、疑問に思う町民は多い。

答

鳳雛塾が入る予定のNTTビルは賃貸として協議を進めている。



鳳雛塾が入る予定の NTT ビル

教育厚生 委員会

小路政敏（委員長）

馬場 等（副委員長）

田端雄市 金七祐太郎

市濱 等 向峠茂人

鍛冶谷員一

問

出産・子育て応援交付金事業の周知を徹底せよ。事業内容に、出産・子育て応援ギフトとして、10万円相当の給付がある。結婚・出産をためらうのは、経済的なことが一因となっている。未婚の方にも周知しておけば、その考えも変わってくる。メインは相談支援であり、きめ細かい支援を期待したい。

答

今回、対象者52人に個別に案内通知する。詳細については、今後の国の説明を見て対応するが、支援内容の多くは、すで

に町が取り組んでいることである。

問

保育士や支援員の処遇改善の内容と環境向上を説明せよ。

処遇改善の金額は誰が決めているのか。その対応は。環境向上の事業の内容は。

答

金額は、1人当たり、9000円で国が決めている。県の監査もあり、実績報告もある。民間の支援員の処遇も同じである。

環境向上の事業は、制度改正により、10年経過ごとに補助が受けられることになり、今回は、トイレの改修と調理室の空調を直す要望に対応するものである。

問

統合保育所の設計につ

いて、職員室から園庭を見渡すようになっていない。常任委員会の管外視察で、東京の鯉浜小学校を視察した際、各教室の設置に感銘した。それと比較し、難を感じる。誰の意見が入っているか。

答

小学校と保育所では、子どものかかわり方が違う。設備もおのずと違ったものとなる。

設計に当たり、町長、副町長の意見、保育士、調理師等の話も聞いて、まとめたものである。



現地では地質調査が進んでいる

第59代石川県町村議会議長会会長に 金七祐太郎議長が就任



金七祐太郎議長が第59代石川県町村議会議長会会長に就任しました。

同議長会は町村議会の円滑な運営と地方自治の振興発展に寄与することを目的とし県内8町の議会議長をもって組織されています。

10月から12月の主な議会活動

10月4日 県町村議会議長会臨時総会・県内行政視察（～5日）

11月7日 全員協議会・第1回能登町議会11月会議・議会運営委員会

員会

11月8日 町村議会議長全国大会・能登地区町議会連絡会研修会

（～10日）

11月10日 千葉県流山市議会行政視察受け入れ

11月11日 議会運営委員会・全員協議会・第2回能登町議会11月

第2回会議

11月16日 能登町町会区長会連合会能都支部「町議と語る会」

11月22日 教育厚生常任委員会

11月28日 議会運営委員会

11月29日 県町村議会議長会臨時総会・議長協議会

（県地場産業センター）

12月2日 全員協議会・広報編集特別委員会

12月6日 第3回能登町議会12月定例会議（議案上程）・議会と

語ろう会

12月7日 各常任委員会

12月13日 第3回能登町議会12月定例会議（一般質問）・広報編

集特別委員会

12月16日 第3回能登町議会12月定例会議（採決）・議会運営委

員会

12月21日 奥能登市町議会議長連絡協議会定期総会（輪島市）

令和4年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 公…他の公務あり 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名	小 浦 肇	吉 田 義 法	堂 前 利 昭	馬 場 等	田 端 雄 市	金 七 祐 太 郎	南 正 晴	市 濱 等	小 路 政 敏	酒 元 法 子	河 田 信 彰	向 峠 茂 人	志 幸 松 栄	鍛 冶 谷 眞 一
04/11/02	議員懇話会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/11/07	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/11/07	11月会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/11/07	議会運営委員会		一	一	○	○	一	オ	一	一	○	○	○	○	一	一
04/11/11	議会運営委員会		一	一	○	○	一	オ	一	一	○	○	欠	○	一	一
04/11/11	全員協議会		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
04/11/11	11月第2回会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
04/11/22	教育厚生常任委員会		一	一	一	○	○	欠	一	○	○	一	一	○	一	○
04/11/28	議会運営委員会		一	一	○	○	一	一	一	一	○	欠	○	○	一	一
04/12/02	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/12/02	広報編集特別委員会		○	○	○	○	○	一	一	一	○	一	一	一	一	一
04/12/06	12月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/12/07	常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
04/12/13	12月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/12/13	広報編集特別委員会		○	○	○	○	○	一	一	一	○	一	一	一	一	一
04/12/16	12月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/12/16	議会運営委員会		一	一	○	○	一	オ	一	一	○	○	○	○	一	一

まちかど

インタビュー

今回のまちかどインタビューは、鵜川地区のお茶会のメンバーです。

(インタビュー 馬場 等)

◆どういう集まりですか。

3年前から、天神町内の小間金物店だった店舗に近所の皆さんが集まっ



鵜川地区お茶会の皆さん

来る人こそばまず!!
お茶会で和気あいあい

ています。現在、集まるのは10人ほどで、日曜日以外の朝9時頃から10時30分頃までの朝のひと時を、コーヒーを飲みながら色々なお話をして過ごしています。

時には、畑でたくさんできた野菜や、お菓子や果物を持ちよることもあります。

帰省した人や、通りがかりの人が入ってきて一

緒に話の輪に加わる事もあります。「来る人こそばまず」の集まりです。

◆お話の内容はどういうものですかまた、活動などもあれば教えて下さい。

話の内容については、お互いの健康について、町からの情報について、宝くじの話、スマホの使い方、テレビ番組の内容など、その時々気になる話題についてです。集まりはほぼ毎日なので、自然と家族的な付き合いとなり、何でも頼みやすい関係性となっています。活動については、コロナ禍以前は鍋パーティーを行った事もあります。



お茶会の場となっている小間金物店



水彩画を楽しむメンバー

ゆずみ)さんを中心に1号の水彩画を描いて楽しんでいたりしています。

◆町や地区に望むことはありますか。

①能登町には、コンサートホールが無いのが非常に残念です。

②能登高校存続のためには、以前の様に水産科や無線科など特色のある科の復活が必要。能登町として全国にアピールできます。

③能登町で、病院や買い物へ安価で乗れる周遊バス等を出して欲しい。

④鵜川地区に安心して住むためにも診療所が欲しい。

⑤鵜川地区も空き家が増えている。何とか昔からの美しい町並みを残したい。

次の定例会議は3月6日開会予定です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。傍聴にお越しの際は、マスクの着用、手指の消毒等、感染症対策にご協力をお願いします。

編集後記

今回、インタビューさせて頂いた「お茶会」が始まったきっかけは、以前から向かいの床屋さん(竹口さん)に集まっていたメンバーが、床屋さんが商売を止めた時に、「こういう集まりを続けたい」との皆さんの強い思いがあったからだとお聞きしました。私はさらに、誰でも気軽に入れる「町なかカフェ」へと繋がればと思いました。

(委員 馬場 等)

広報編集
特別委員会

委員長 馬場 等
副委員長 小浦 肇
委員 吉田 義法
堂前 利昭
田端 雄市
小路 政敏